
5 . 8.2 から 8.3 へのリリースアップに伴う修正

内部動作

- 1) FOR ループと全ての ENTER 文で LONG 変数が使用可能になりました。
- 2) 変数を、宣言と同時に初期化できるようになりました。
例 INTEGER I=13
- 3) スタティック(STATIC)変数初期化中に、複素数の宣言ができるようになりました。
- 4) 特に宣言を行わず、65535 より大きい値を設定された変数が REAL または LONG 変数として正しく評価できるようになりました。
- 5) XREF で配列変数と標準の変数とを区別できるようになりました。
- 6) キーワードを 3 つ指定して HELP を起動すると発生していた文法エラーを修正しました。
- 7) CAPS LOCK 状態を表す STATUS (KBD,0) が CAPS LOCK キーの状態を正しくレポートするようにしました。
- 8) ディレクトリにテンポラリーファイルができていた状態で CAT コマンドをかけても、リスト内に余計なファイル情報を表示しないようにしました。
- 9) CAT コマンドでスペースが含まれるディレクトリもリストできるようにしました。
- 10) CONFIGURE LONGCATDATES コマンドをオプションとして追加し、CAT リストに表示する日付のうち、年の桁数を制御できるようにしました。これまでは、LONGFILENAME がオンの場合は 4 桁に固定されていました。このオプションや Run Environment オプションを使うと、4 桁の年数を生成し、このオプションをオフにすると 2 桁の年数を生成します。
- 11) ファイルからバッファへの TRANSFER を修正し、ON END オプションを正しく受け付けるようにしました。
- 12) ファイルから送信されたデータ容量が、受け取り側のバッファ容量よりも小さい場合でも TRANSFER がハングしないよう、修正しました。
- 13) 転送元から EOI 信号が送信されると、インバウンド TRANSFER が正常終了しないことがありました。EOI 信号を正しく検知できるようにしました。
- 14) MAIN から RETURN 1 を呼び出すときに発生していたアプリケーションエラーを解消し、正しくエラー表示するようにしました。
- 15) エディタ環境(Editor Environment)ダイアログのフォント部が更新されると、-fn スイッチを使ってアプリケーションに渡されたフォント情報は、レジストリに書きこまれるだけになります。
- 16) KBD CMODE がオンの時、ALPHA PEN で正しくソフトキーの色変更ができるようにしました。

[お問い合わせ先]

アイネット株式会社 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町 1-1-9 川合ビル 7F

Tel: 03-5623-2301 Fax: 03-5623-2305

E-Mail: sales@i2net.co.jp URL: <http://www.i2net.co.jp>

17) Alpha の行高を指定するコマンド CONTROL CRT,13 を更新してあらゆる状況で使用できるようにしました。これまでは、Alpha の高さが小さいと正しい結果が得られないことがありました。

18) インバースビデオ用の CHR\$(129) を使ってもソフトキー行に影響することはなくなりました。これまでは、ソフトキー領域の右側と下側に不適切な色が表示されていました。

19) 旧式の PROG から String 関数を呼び出す LOADSUB に完全対応しました。

20) GFONT 使用時のカラーマップモードで、色のマッピングが正しく行えるようにしました。

21) LONG 変数に不適切な割り当てを行うと、エラー19「Improper value or out of range (値が不適切か範囲を超えています)」が正しく発生するようにしました。

22) ENTER コマンドで、LONG 変数を扱えるようにしました。

[お問い合わせ先]

アイネット株式会社 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町 1-1-9 川合ビル 7F

Tel: 03-5623-2301 Fax: 03-5623-2305

E-Mail: sales@i2net.co.jp URL: <http://www.i2net.co.jp>